

平成29年12月20日  
大洲河川国道事務所

## 104年前に造られた初代肱川橋の橋脚を一般公開します ～大正時代の土木構造物を間近で体感～

国土交通省大洲河川国道事務所が進めている国道56号肱川橋橋梁架替において、取り壊し中の橋脚の中から大正2年（1913年）に完成した、レンガで造られた初代肱川橋の橋脚が現れたことから、市民の皆様などに工事現場を一般公開します。

レンガで造られた橋脚を間近で見られる滅多にない機会となりますので、是非ご見学下さい。

- 日時：平成29年12月22日（金）10:00～14:00（予定）  
12月23日（土）10:00～14:00（予定）

- 場所：大洲市大洲 肱川橋P1橋脚撤去現場（別紙1参照）

- 内容等：大正2年（1913年）に完成した初代肱川橋のレンガで造られた橋脚を見学できます。

- その他：見学される方は安全確保のため現場管理者の指示に従って下さい。

現場内には駐車場はありません。自動車で来られる場合は近隣の駐車場をご利用下さい。また現場は未舗装のため、運動靴など歩きやすい履物を着用してお越し下さい。

肱川橋橋梁架替事業の概要については別紙2をご参照下さい。

### 【記者の皆様へ】

取材を希望される記者の皆様は、12月21日（木）17:00までに以下の問い合わせ先まで連絡をお願いします。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5地域の自立的・接続的發展に向けた「資国」産業競争強化プロジェクト】等に該当します。

### 【問い合わせ先】

### ○主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL：0893-24-5185（代）

副所長（道路） 石原 弘之（内線205）

○工務第二課長 谷脇 信昭（内線411）





この地図は国土地理院・地理院地図を使用し位置名称等を追記したものである。

●現在の肱川橋の状況 写真①



●初代肱川橋  
1913年（大正2年）完成



●初代肱川橋のP4橋脚  
（平成29年3月の様子）



出典：文化歴史資料館

## 国道56号ひしかわぼしきょうりょうかけかえ肱川橋橋梁架替の事業概要について

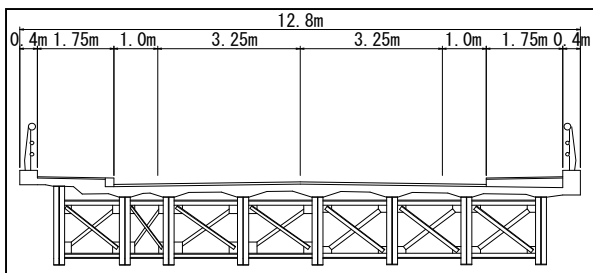
国道56号肱川橋架替事業は、第1次緊急輸送路として位置づけられた重要な路線の一部である肱川橋の地震時耐久性能不足の解消や河積阻害等の治水上の問題の解消、自歩道幅員の確保による通行の安全を確保する事業です。



■ 新しい肱川橋のイメージ ■



■ 撤去した肱川橋の幅員構成 ■



■ 新しい肱川橋の幅員構成 ■

